

市民ネットワーク千葉県

2016年6月
87号

7月の参院選が目前に迫りました。安倍政権は、アベノミクスがもたらした格差拡大や貧困の問題に目を向けず、「命より経済優先」の路線をひた走っています。安保法制の廃止を求める多くの国民の声にも耳を塞ぎ、「憲法改正」を争点に掲げて「戦争できる国づくり」へと大きく踏み出そうとしています。

このような危機的状況を迎え、市民ネットワークは3人の立

候補予定者の推薦を決定し、全力で応援しています。3人とも憲法破壊の安倍政権に鋭く切り込み、市民目線で活動してきました。私たちも「いのちと平和が基本です」と地域から大きく声をあげ、安倍政権の暴走にストップをかけるべく共に闘っていきます。皆さんもどうぞ応援してください。

(千葉県議会議員 入江晶子)

参議院選挙 千葉選挙区 投票に行こう！現政権にレッドカード！

一人ひとりの幸せを守る13条

伊藤：日本国憲法は13条で「誰もが個人として尊重され、幸せになる権利を持つ」と規定している。しかし、

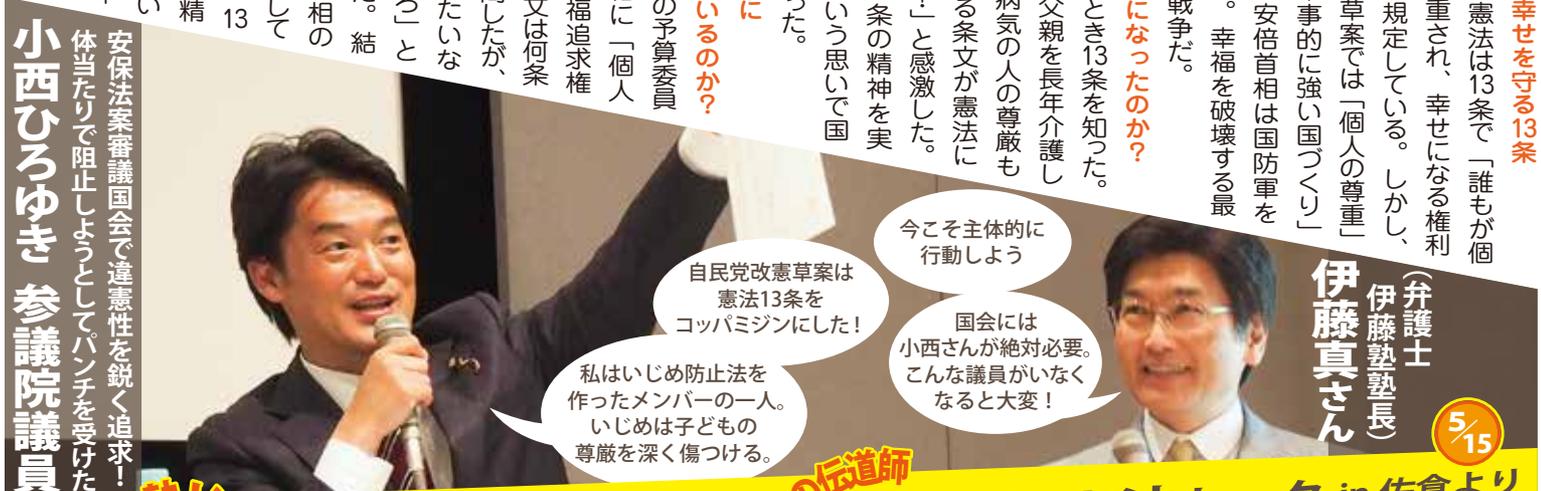
自民党改憲草案では「個人の尊重」よりも「軍事的に強い国づくり」を優先し、安倍首相は国防軍を作ると明言。幸福を破壊する最大のもので戦争だ。

なぜ国会議員になったのか？
小西：19歳のとき13条を知った。寝たきりの父親を長年介護しており、「病気の人の尊厳もちゃんと守る条文が憲法にあったんだ」と感激した。6年前、13条の精神を実現したいという思いで国会議員になった。

なぜ安倍首相に一番嫌われているのか？
小西：3年前の予算委員会

会で、首相に「個人の尊厳と幸福追求権を定めた条文は何条か？」と質問したが、「クイズみたいな質問はやめろ」と逃げられた。結果として首相の無知を暴露してしまったが、13条の中身も精神も知らない国民の幸せを守るのが。

安保法案審議国会で違憲性を鋭く追求！
体当たりで阻止しようとしてハンチを受けた
小西ひろゆき 参議院議員



今こそ主体的に行動しよう

自民党改憲草案は憲法13条をコッパミジンにした！

私ははじめ防止法を作ったメンバーの一人。はじめは子どもの尊厳を深く傷つける。

国会には小西さんが絶対必要。こんな議員がいなくなると大変！

伊藤真さん (弁護士 伊藤塾塾長)

5/15

熱い小西ひろゆき × 憲法の伝道師 伊藤真 憲法トーク in 佐倉より

まるでナチス？

自民案「緊急事態条項」

伊藤：大災害にかこつけて、政府が全権を握る「緊急事態条項」の本当の狙いは、国民を統制する国家体制。ナチスも「緊急命令」、「全権委任法」でアツと言つ間に独裁体制を作った。

災害には法律で対応できる！

小西：大災害でも現行の「災害対策基本法」で十分対応できる。3・11のあと、「病院はプレハブでもOK」等、実情に応じて法改正を行ってきた。憲法を変える必要は全くない。

信頼関係がカギ

伊藤：憲法前文の「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して…」の部分が好きだ。ベルリンの壁がなぜ壊れたのか。物理的な壁は壊れなくても、壁の向こうに仲間を作れば壁はなくなる。信頼関係こそがカギだ。

小西：改めて13条の大切さを噛みしめている。私の仕事は国民の尊厳と幸せを守ること。安倍政権を一日も早く終わらせた。



「平和が一番！」千葉市の商店街に響きわたる力強い声。

報告 5/14 勝手連大集合 奮闘中

千葉県は良い候補者がいてうらやましい」と、全国から言われている小西ひろゆきさん。そんな小西さんを当選させたいと、たくさんの方々が集まりました。

市川 キックオフ集会を皮切りに活動が始まっています。

船橋 市民や超党派の議員が集まって活動中。船橋駅や津田沼駅で、勝手連が独自に作ったリーフを配布しながら小西さんの政策を訴える駅頭宣伝にも、20人近いメンバーが集まりました。

千葉 少人数で学カフェ形式の集まりで、小西さんの話を聞きました。憲法の話や安倍政権のインチキをじっくり聞いて、「ようやくわかった」との声も。

佐倉 地元の議員と一緒に駅での宣伝活動を行っています。小西さんと伊藤真弁護士の「目からウロコの憲法トーク」も開催。

松戸 応援団が発足。勝手連リーフで小西ひろゆきさんの名前を広めています。

オープニングは「みんながみんな英雄」の曲でフラッシュモブ(ダンス)。市民3人が「私の好きな憲法」をテーマに、心のよりどころとしている条文について思いを語った後は、JR千葉駅中央公園をパレードしました。国会議員が遵守すべき憲法を、ながいしるしに続ける安倍政権の暴走を止めるために、「必ず小西さんを勝たせよう」と、集った皆の気持ちが一つになりました。



勝手に作成のリーフ 元気にキックオフ！



市民も議員もマイクを持って小西さんを応援。





福島みずほさん (参議院議員 社民党)

参院選 全国比例区

市民ネットワークは この二人を応援しています



大河原まさこさん (前参議院議員 民進党)

自民党の憲法草案からは、9条を変えて武力行使できる国にしたいことが読み取れます。しかしこれまでの70年間は、平和憲法の下で経済力や技術力を生かし、ODAなどで発展途上国を中心とした国際協力関係をつくってきたのです。軍事力を備えなくても、日本は国際的に果たせる役割があるはず。その得意分野を生かした外交政策を期待します。

千葉市議 岩崎明子

軍備に たよらない外交



よつかいどうネットのミニ集会。「市民自治の理念を国政でも実現したい」と大河原さん。

暮らしを支える 介護保険

2000年からスタートした介護保険は、度重なる制度の改正ですっかり変容しています。次期改定では、利用料の原則2割負担、要介護1と2のデイサービスの地域支援事業移行、福祉用具や住宅改修の原則自己負担などが検討されています。「保険あって介護なし」にならないように、安心につながる社会保障政策の実現に期待します。

四街道市議 大越登美子

ふたりに実現してほしいこと

TPPと食の安全

TPPによって今後、海外食品の輸入拡大が予想されます。遺伝子組換えの表示義務や食品添加物の基準、残留農薬の問題はどうなるのか？農業の衰退で新鮮で安全な農作物が手に入りづらくなるのでは？と心配が尽きません。

子育ての役割を大きく担ってきた女性ならではの視点で、食の安全を守るために尽力していただきたいと考えています。

柏市議 林紗絵子



脱原発は大河原さんの重要なテーマ。柏駅や松戸で多様なエネルギー政策を訴えました。



大河原さんの主要政策「食の安全」をテーマに、みはまネットは国政サロンを行いました。

新しいエネルギー政策

市民一人ひとりのいのちと暮らしを守るには、日々の安心と安全が欠かせません。福島原発事故での辛い経験を糧として、一刻も早く脱原発社会をつくりあげること、そして再生可能エネルギーを加速的に普及させることが、地震大国の日本が取るべき姿勢です。

今こそ、市民目線で新たなエネルギー政策を提案・実現できる人を国会へ送り出しましょう。

千葉市議 松井佳代子

沖縄と地方自治



子どもの貧困から沖縄、女性政策まで、ユーモアたっぷりに熱弁をふるう福島さん。

県民は新基地建設反対の意思を、選挙を通して何度もはっきり示してきました。しかし国は、あらゆる方法で沖縄の民意を無視しています。

これは、選挙で示された重要な民意が、政府によっていつでも曲げられることであり地方自治の破壊です。

民主主義を守り、地方自治の重要性を発言する国会議員として活動してもらいたいです。

船橋市議 三宅桂子

子どもは社会で 育てるもの

貧困、保育所不足、産後うつによる自死など、子どもをとりまく問題は山積みです。子どもは家族だけで育てられるものではありません。すべての子が健全に育ち、学ぶ権利を保障する社会へ舵をきる大事な時です。ひとり親世帯への支援も急務です。未来の日本を担う子どもたちへの教育は、無償で受けられるようにしてほしいです。

千葉市議 渡辺忍



歌と踊りで平和を訴えるイベントでは、衣装をつけて福島さんと小西さんが一緒にフラダンス。

被災者への支援

東北震災から5年経った今も仮設住宅で生活している人が多く、主避難者への支援も不十分なままです。熊本地震では過去の教訓が生かされず備蓄物資や救援物資の配分に手間取り、福祉避難所も機能しない状態でした。日本が地震大国である限り、不安を最小限にとどめられる被災者支援を考えていただきたいです。

市原市議 森山かおる



スーパーの買い物客に福祉の充実を訴える大河原さん。(佐倉)

参院選投票 豆知識

これだけは 忘れないでね!

投票用紙は2枚配られます。

① 千葉県選挙区

投票用紙 立候補者の個人名を書いてください。

② 全国比例区

投票用紙 政党名でもOKですが、立候補者の個人名を書いてください。

個人名を書いて
応援してね!

